

2019年7月 第22号



IRPA 会報

放射線防護専門家のために，放射線防護専門家による



本号の目次:

I C R P 2 0 1 9 及び I R P A 1 5 に関する最新情報	- 2
中国放射線防護学会	- 3
ポルトガル放射線防護学会	- 4

この"IRPA会報"の日本語訳は、IRPAの公式的な翻訳ではありません。そのため、IRPAはその正確性を保証するものではなく、またその解釈や使用がもたらすいかなる結果についても、一切責任を負いません。

This Japanese translation of "IRPA Bulletin" is not an official IRPA translation; hence, IRPA does not guarantee its accuracy and accepts no responsibility for any consequences of its interpretation or use.

IRPA 出版委員会

委員長: Christopher Clement; 副委員長: Bernard LeGuen; 会報編集担当: Chunsheng Li & Ali Shoushtarian; 加盟学会連絡担当: Adelene Gaw; Website: Managers Andy Karam & Chris Malcolmson; Social Media Managers: Sven Nagels & Chris Malcolmson; Media Reviewers: Sven Nagels, Young-Khi Lim & Hattori Takatoshi; Proceedings Advisor: Haruyuki Ogino



ICRP2019でお会いしましょう

(KELSEY CLOUTIER, ICRP DEVELOPMENT AND COMMUNICATIONS MANAGER)



国際放射線防護委員会 (ICRP)、 オーストラリア放射線防護学会(ARPS) 及び オーストラリア放射線防護・原子力安全庁(ARPANSA)は、2019年11月17～21日にオーストラリア南部のアデレードで開催される、第5回の放射線防護体系に係る国際シンポジウム (ICRP2019) への参加を歓迎します。ICRPはオーストラリア政府の医官チーフであるBrendan Murphy教授からの基調講演及び「鉱山、医学及び火星」に関連する様々なトピックスにおける著名な科学者による約30の招待講演を企画しています。参加登録は始まっています。登録予定者の皆様には2019年8月1日までの早期割引を受けることをお勧めしています。ICRP2019を講演するか、また他は出展者として参加する組織の方々には、ICRP2019のウェブサイトをご覧ください。ICRPのDevelopment and Communications Manager であるKelsey Cloutier (kelsey.cloutier@icrp.org)にご連絡をいただけますようお願いいたします。

IRPA15要旨提出の開始



国際会議組織委員会(ICOC)はIRPA15の要旨受付が開始されたことのお知らせします！要旨は全て会議のウェブサイト<https://www.irpa2020.org/>からのオンライン提出となっています。要旨のトピックスはウェブサイトを確認できます。IRPA15では、8の全体会議、20のトピック別セッション、25の再教育コースと同様に8つの十分なセッションおよび20の話題のセッションが提供されます。全体会議は 1)シーベルトレクチャ; 2)最新の科学: 放射線の健康影響; 3) 防護体系の将来; 4)放射線防護 (放射線安全) 文化; 5) 非電離放射線: 防護体系の開発; 6)福島; 7)公衆の理解; そして 8)倫理からなります。会議の最新情報はFacebook、Twitter、Youtubeでお知らせしています。ページを見れば必ず気にしていただけることでしょう。



中国放射線防護学会(CSRP)

(WEI CHENG, CSR/P学会員)

中国放射線防護学会(CSRP)は、放射線防護科学技術に特化した全国の非営利団体で、2013年に正式に設立されました。CSR/Pの前身は、1980年に設立された中国原子力学会(CNS)の放射線防護部門でした。CSR/Pは、国際放射線防護学会(IRPA)の加盟協会です。

CSR/Pの目的は、放射線防護に関する知識と実践を進め、中国の放射線防護コミュニティにおけるコミュニケーションを促進することです。活動には、学术交流の調整、技術協議の提供、先端技術の促進、国際協力の促進、学会員の法的権利及び利益の保護、国民とのコミュニケーション、政府当局への助言、プロジェクトの管理、技術研修の調整があります。現在、CSR/Pには4つの作業委員会と13のトピカル分科会があります。

作業委員会: 1)科学技術委員会(CSRP/CoST); 2)財務委員会; 3)国際協力・交流委員会; 4)青少年のパネル

トピカル委員会: 1)自然放射線に対する防護委員会(CSRP/CPNR); 2)原子力・放射線緊急事態委員会(CSRP/CNRE); 3)放射線環境モニタリング・評価委員会(CSRP/CREMA); 4)放射線保健委員会(CSRP/CRH); 5)核融合における放射線防護委員会(CSRP/CRPNF); 6)放射性廃棄物管理・原子力施設廃止措置委員会(CSRP/CRWMNFD); 7)原子力施設における放射線防護委員会(CSRP/CRPNF); 8)電離放射線測定委員会(CSRP/CIRM); 9)粒子加速器放射線防護委員会(CSRP/CRPPA); 10)教育とポピュラーサイエンスに関する委員会(CSRP/CEPS); 11)放射線生態学委員会(CSRP/CRE); 12)超ウラン元素の放射線防護委員会(CSRP/CRPTE); 13)放射性物質輸送安全のための放射線防護パネル(PRPRMTS)

CSR/Pは、中国放射線防護研究所(CIRP)が運営する事務局をniuyujuan@cirp.org.cnを窓口としてNiu Yujuan氏と共に運営しています。CSR/Pは、IRPAファミリー内の他の加盟学会とのコラボレーションを歓迎します!

中国辐射防护学会2018年学术年会

2018年11月14日 广州





ポルトガル放射線防護学会(SPPCR)

(LUÍS NEVES, 会長)

ポルトガル放射線防護学会(SPPCR)は、ポルトガルの国内法に基づく非営利団体であり、公益事業法 (www.sppcr.pt)で認められています。1993年に設立され、主に大学、病院、公的機関などから約60名の現役会員を有し、民間セクターの専門家が参加しています。

ポルトガル放射線防護学会は、ブラジル放射線防護学会(SBRP)と共同で2018年に編集された「ポルトガル語圏の放射線防護」というタイトルで、「Radioproteção」という名前のジャーナル（時には本）を定期的に出版しています。SBPRとの強力なコラボレーションは、ポルトガル語圏の放射線防護会議という一連の国際会議を通じても具体化されています。第7回大会は、2019年9月16日~20日にブラジルのサンパウロの原子力・エネルギー研究所で開催され、RADIO 2019国際会議(www.sbpr.org.br/radio2019)と共同で開催されます。



左から右へ: José Marcus Godoy (SBPR会長), Luís Neves (SPPCR会長), Eduardo Gallego (IRPA理事) 第5回ポルトガル語圏の放射線防護会議 (ポルトガル, コインブラ, 2016開催) にて。